

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします

## せん孔細菌病の発生盛期を迎える

- 5月中旬より日平均気温は、せん孔細菌病菌の繁殖適温の 25℃に達しています。今後は、6月上旬に梅雨に入るため、発病部位が葉、幼果、新梢へと拡大します。被害部を早めに見つけ、ほ場外に持ち出し、伝染源を少なくする作業が重要になります。
- 果実への感染予防方策として、可能な限り有袋栽培や早期に袋掛け作業を行ないましょう。
- 低温、曇雨天が続く場合は、収穫前日数に注意しながら、追加防除を行なう必要があります。



せん孔細菌病が発生した幼果

せん孔細菌病防除剤

散布時期	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用限度	100ℓ当たりの液量
6月以降	マイコシールド	1,500倍	21日前まで	5回	66g
	バリダシン液剤5	500倍	7日前まで	4回	200cc

## ワンタッチ袋掛け方法はいかが？

- 気象災害や病害虫への対策として、早期袋掛けが重要になっています。
- 最近、果樹栽培に関する様々な情報動画がインターネット配信されるようになり
- 簡単に出来る新しい袋掛けのやり方も紹介されています。
- 農作業の合間に御覧になって、作業軽減のにしてください。

動画はこちらから↓

<https://www.youtube.com/watch?v=AWLrLL19jqw>

